



4つて子応援団



【活動報告】5年生の火起こし体験

6月11日（土）2～4時間目の授業で、5年生の児童を対象に「火起こし体験」を実施しました。これは、5年生の臨海学習の野外炊飯で、火を起こす手順を事前に学習できるように企画したものです。

火をつけるために何が必要でどんな道具を使うのか、向日市のボーイスカウトの方々をお招きして、地域のボランティアの皆さんと一緒に学習しました。

向日市ボーイスカウトの皆さま、ボランティアで参加してくださった大学生の皆さま、ご協力ありがとうございました。

火をつけるために必要なものは？



ボーイスカウトさんからの問題です。

問題①「物が燃えるには、何が必要でしょうか？」

問題②「焚火の上にある水の入った紙コップは燃える？燃えない？」どちら？



答え① 物が燃えるための条件は「燃料」「酸素」「熱」が必要です。
3つ全て揃わないと物は燃えません。

答え② 物が燃えるためには、燃料と酸素と熱が必要です。
この場合、燃料は紙コップ、酸素は空気中にあります。
しかし、熱は紙コップの水が吸収してしまうため足りません。
3つの条件が揃っていないので紙コップは燃えません。

～貴重な体験がたくさんできました～

このお便りのカラー版を4向ホームページにアップしています。ぜひご覧ください。

火起こし体験

スタート！



ナタの刃に
気を付けて！

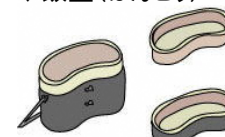


薪(まき)を割ります。



お米は優しく洗いましょう。

↓ 飯盒(はんごう)



飯盒を使って
お米を炊きます



さあ！次は薪を組んでいこう！
空気が通りやすいように、
新聞の上に細い薪をこんな風に
組んでいきます。→



マッチを使って火をつけよう！
初めてなので、
ちょっと難しかったかな？



どの班もスムーズに火を付けることができました！



ボーイスカウトさんが
はんごう炊飯を実演して
くださいました！

始めグツグツ、中パッパ、
美味しいご飯の完成～☆

